

第 1 章

目指すまちづくり

1	茅ヶ崎市の目指す将来の都市像	2
2	行政運営の基本姿勢	3
3	政策目標	4
4	政策目標別成果指標一覧	5

第1章

目指すまちづくり

茅ヶ崎市では、地域の状況を分析し、市民ニーズを的確に捉えた上で、将来の目標を明確にするとともに、その実現に向けた計画的な取り組みが必要であること、また、長期的な視野に立った地域のあり方を展望し、本市の政策を総合的に推進する必要があることに鑑み、茅ヶ崎市自治基本条例第18条第1項で、総合計画の策定を位置付けています。

現在の総合計画は、令和3(2021)年度から10年間を計画期間として、2(2020)年9月に茅ヶ崎市議会の議決を経て策定されました。第1章では、総合計画の概要を述べ、茅ヶ崎市が目指すまちの姿を明らかにしていきます。

1 茅ヶ崎市の目指す将来の都市像

社会が成熟するとともに、人口減少の本格化や少子高齢化の進行、深刻な気候危機による大規模な自然災害の多発等、多くの新たな課題が顕在化しています。こうした課題に対応し、次代に責任を果たすことで、茅ヶ崎市が今後も持続可能なまちであり続けるため、総合計画では、将来の都市像を次のとおり定めています。

【茅ヶ崎市の目指す将来の都市像】

笑顔と活力にあふれ みんなで未来を創るまち 茅ヶ崎



2 行政運営の基本姿勢

将来の都市像の実現に向け、社会の変化を的確に捉え、柔軟に対応するとともに、未来に向かって果敢に挑戦するための行政の行動指針として、行政運営の基本姿勢を次のとおり定めています。

未来創造への 挑戦

① 変化に迅速な対応がとれる 職員力・組織力の向上

急激に変化する社会環境を的確に捉え、柔軟に対応するとともに、これまでの手法や考え方にとらわれることなく、新たな発想により積極果敢に挑戦できる仕組みを構築し、社会環境の変化に迅速な対応がとれる職員力・組織力の向上を図ります。

② 質の高い行政サービスの 提供

人口減少という社会の大きな転換点を迎えるに当たり、全ての市民が、安心した生活を送れるよう、先進技術を積極的に活用するとともに、民間の団体や企業との協働、周辺自治体等との連携により、質の高い行政サービスの提供に努めます。

③ 未来に責任を持つ 行政経営

厳しい財政状況が見込まれる中においても、多様化・複雑化する市民ニーズに対応するため、客観的なデータなどの証拠に基づく政策の立案や、事業の見直しや重点化を図るなど、本市が将来にわたって持続可能なまちであり続けられるよう、戦略的な行政経営を行います。

市民との 関係の深化

① 市民との双方向のコミュニ ケーション

積極的な情報発信により、行政の説明責任を果たすことで、市民と行政がさまざまな情報を共有し、相互理解をさらに深め、信頼し合える関係を構築します。

また、さまざまな主体との対話や交流の場を充実させ、市民主体のまちづくりを推進します。

② 市民が力を発揮できる 社会の構築

人口減少や少子高齢化のさらなる進展等、社会構造が大きく変化する中、民間の団体や企業をはじめとする多様な主体がそれぞれの価値観で活動することで、社会的課題の解決に結びつくよう、相互の連携をコーディネートし、市民一人一人が自らの力を発揮できる社会を構築します。

3 政策目標

将来の都市像の実現に向けて長期的な展望にたち、10年間の総合的な政策展開の方向性として、次のとおり政策目標を定めています。

●政策目標

1

子どもが希望を持って健やかに成長し、次代を担うひとが育つまち

2

地域が活力にあふれ、交流とにぎわいのあるまち

3

共に見守り支え合い、誰もが健康に暮らすまち

4

誰もがいつでも学べ、生きがいを持って自分らしく暮らすまち

5

豊かな自然と共存し、心地よい生活環境のあるまち

6

安全で安心して暮らせる、強くしなやかなまち

7

利便性が高く、魅力的な都市空間が整うまち

将来都市像の実現に向けた行政経営



4 政策目標別成果指標一覧

政策目標を達成したことにより得られる最終成果を計測するための指標(KGI(※))を定め、計画の進行管理を行います。

成果指標 (KGI)	現状値 令和元年度 (2019)	中間目標値 令和7年度 (2025)	最終目標値 令和12年度 (2030)
【政策目標1】子どもが希望を持って健やかに成長し、次代を担うひとが育つまち			
①「子どもを育てやすい環境」への市民の満足度	35.8%	35.8%	37%
②「自分には良いところがある」と思う児童の割合(小学6年生) *現状値は令和2(2020)年度	83.0%*	86.3%	87%
③「自分には良いところがある」と思う生徒の割合(中学3年生) *現状値は令和2(2020)年度	77.0%*	77.9%	80%
【政策目標2】地域が活力にあふれ、交流とにぎわいのあるまち			
①「地域経済の活性化に向けた取り組み」に対する市民の満足度	33.2%	33.2%	35%
②「市内での多様な働き方や働く場の創出」に対する市民の満足度	12.1%	12.1%	14%
【政策目標3】共に見守り支え合い、誰もが健康に暮らすまち			
①「地域における支え合いの仕組みや、自分らしく暮らせる環境」への市民の満足度	22.8%	22.8%	25%
②「健康を守るための保健衛生や医療体制」に対する市民の満足度	24.9%	24.9%	26%
③「誰もが安心して暮らすためのセーフティネット(※)」に対する市民の満足度	16.3%	16.3%	18%
【政策目標4】誰もがいつでも学べ、生きがいを持って自分らしく暮らすまち			
①「学びの機会や文化・芸術、スポーツに触れる機会」に対する市民の満足度	28.9%	28.9%	31%
②「多様性を認め、お互いを尊重し合う社会の実現」に対する市民の満足度	17.5%	17.5%	21%
【政策目標5】豊かな自然と共存し、心地よい生活環境のあるまち			
①「自然環境の保全や、生物多様性(※)の維持」に対する市民の満足度	45.7%	45.7%	46%
②「持続可能な社会の実現に向けた環境負荷の低減」に対する市民の満足度	32.4%	32.4%	36%
③「心地よく暮らせる生活環境」への市民の満足度	41.4%	41.4%	43%
【政策目標6】安全で安心して暮らせる、強くなやかなまち			
①「災害から生命・財産を守るための防災や減災への対策」に対する市民の満足度	28.9%	28.9%	33%
②「生命・財産を守るための火災や救急への対策」に対する市民の満足度	30.0%	30.0%	33%
③「暮らしの安全・安心の確保に向けた防犯や交通事故防止への対策」に対する市民の満足度	25.9%	25.9%	29%
【政策目標7】利便性が高く、魅力的な都市空間が整うまち			
①「機能的で秩序のある都市づくり」に対する市民の満足度	35.1%	35.1%	40%
②「快適で利便性の高い移動環境の形成」に対する市民の満足度	36.0%	36.0%	38%
将来都市像の実現に向けた行政経営			
①「市民主体のまちづくり」に対する市民の満足度	22.5%	22.5%	24%
②「行政運営の基盤の確保」に対する市民の満足度	19.5%	19.5%	22%
③経常収支比率	99.4%	99.4%	99.2%

※ KGI: Key Goal Indicator の略。政策目標を達成したことにより得られる最終成果を計測するための指標。

※セーフティネット: 病気やけが、失業等により困窮した場合に、最悪の事態から保護し、最低限の生活を保障する仕組みのこと。

※生物多様性: 生きものの豊かさのこと。「生態系の多様性」「種の多様性」「遺伝子の多様性」という三つのレベルでの多様性があるとされている。

～茅ヶ崎市総合計画とSDGs (Sustainable Development Goals)～

持続可能な社会の実現を目指すSDGsの理念は、将来にわたって持続可能なまちであり続けることを目指し、多様な主体との連携・協力により取り組みを進める本市にもあてはまるものです。

行政とさまざまなステークホルダー(※)の間で、SDGsという共通言語を持つことにより、政策目標の共有と連携促進、パートナーシップの深化が実現し、地域課題解決に向けた自律的好循環を生み出すことが可能となることから、各政策目標の達成に向けた取り組みが、どのSDGsに寄与するかを総合計画で明らかにしています。政策目標とSDGsの関係性を示すため、第4章においてSDGsのアイコンを表示しています。

※ステークホルダー：行政や企業、NPO等の利害と行動に直接・間接的な利害関係を有する者のこと。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

